

学校教育目標	人権尊重の精神を基に国際社会に貢献できる日本人の育成 1 学びつづける人 2 思いやりのある人 3 心身の健康に努力する人		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	＜学校像＞・生徒の能力を高め資質の向上をめざす学校 ・入学させてよかったと保護者、地域から信頼される学校 ・教職員も資質の向上を常に心がけ、高め合い組織的に協働できる学校 ＜生徒像＞・人権意識、思いやりの心を持ち、自己を大切にしながら他者も尊重できる生徒 ・自らの目標を定め、向上心を持ち、主体的、意欲的に学ぶ生徒 ・コミュニケーション能力を高め生活に生かせる生徒 ・地域の一員としての自覚をもち、地域を大切にする生徒。 ・南中プライドを常に胸にとどめ、規範意識のある生徒 ＜教師像＞・生徒一人一人の理解を深め、生徒のより良い育成に使命感を持って取り組む教師 ・組織の一員としての自覚を持ちながら学校としての課題の克服に、意欲的に取り組む教師 ・教育公務員としての責任ある言動の履行を厳守し、説明責任が果たせる服務を実践する教師 ・日常の授業を大切にして、主体的に学びに向かう授業を行うための研修を励行する教師
前年度までの本校の現状	成果	数学・英語の習熟度別少人数授業を行ったことで、生徒の学習意欲が高まった。学習用タブレット端末を効果的に授業で活用し、生徒の学習意欲を引き出すことができた。支援が必要な生徒に対する研修会を実施したことでユニバーサルデザインの視点に立った対応について、理解が深まった。関係諸機関と情報共有できたことで、効果的に支援をすることができた。	課題	・学習の習熟度に個人の開きがある。放課後学習教室や習熟度少人数授業の実施の重要性が増した。 ・不登校巡回教員と協力し、不登校生徒の対応だけでなく、未然防止に努める必要がある。 ・部活動指導員を活用し、教員の負担軽減を図る必要がある。

[illegible]

[illegible]